



「体も心も柔軟に！」  
ばんだいキッズスポーツサークル

### 9月定例会

|           |      |
|-----------|------|
| * 令和4年度決算 | 2    |
| * 特別会計・人事 | 3    |
| * 決算質疑    | 4    |
| * 施政方針    | 5    |
| * 補正予算    | 6    |
| * 一般質問    | 7～14 |
| * 現地調査    | 15   |
| * みんなの声   | 16   |





# 9月定例会 決算

令和4年度磐梯町一般会計及び特別会計  
(11会計) 決算認定について審議を行い、  
いずれも原案のとおり認定しました。

令和4年度一般会計の決算額

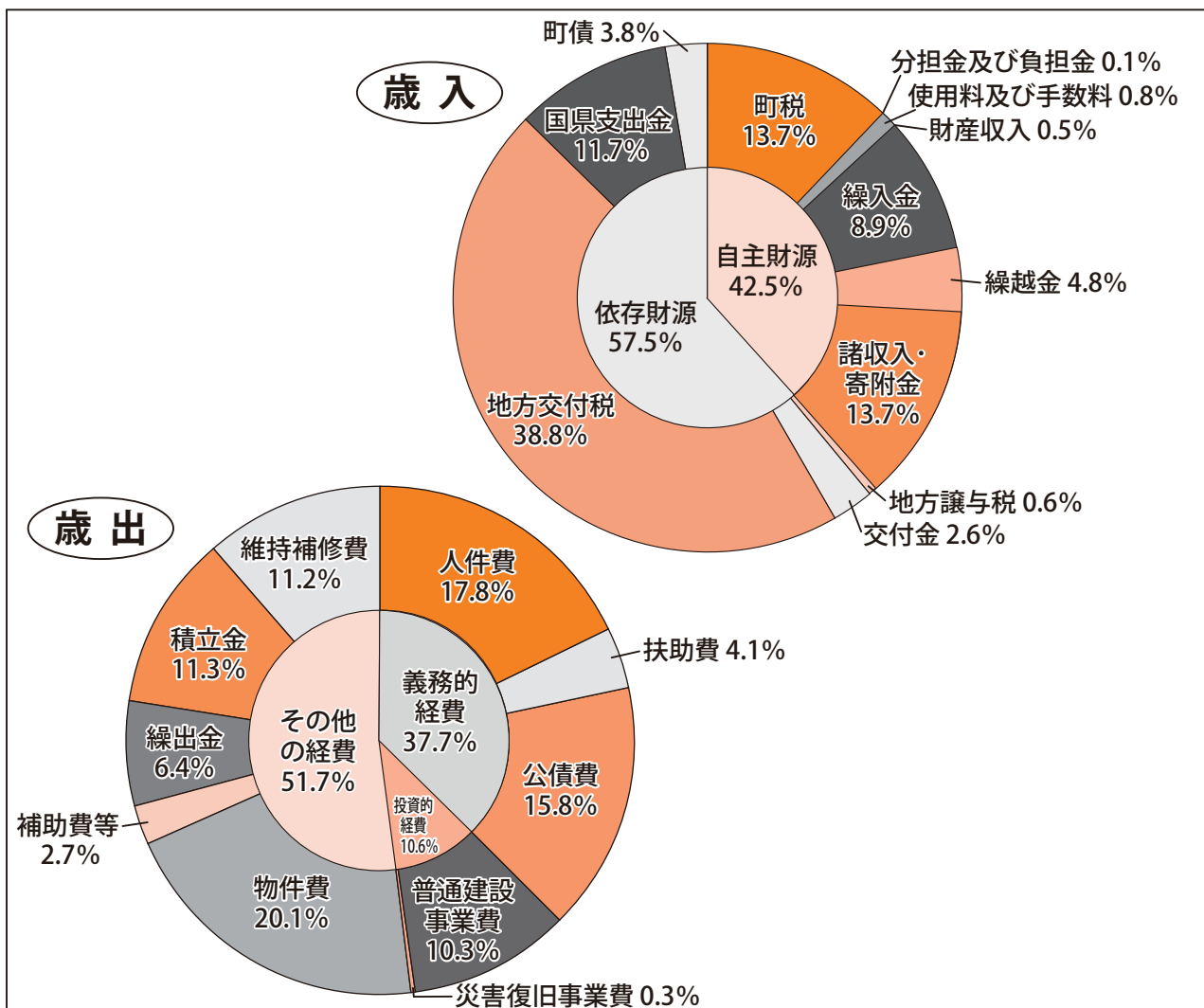
歳入総額 49億3,794万4,372円  
(前年度比8.3%減)  
歳出総額 47億6,184万5,220円  
(前年度比7.4%減)  
歳入歳出差引 1億7,609万9,152円  
(内繰越明許費繰越額2,644万1千円)

歳入では、財産収入・寄附金が増額となり、地方特  
例交付金・国庫支出金・繰入金等が減額となった。

歳出では、防災無線戸別受信機整備工事費・財政調  
整基金積立が減額となった。

9月定例会は、6日から14日  
までの会期で開催されました。  
令和4年度決算の認定や補正予  
算など、町長提出23件の議案が審  
議され、すべて原案通り可決され  
ました。  
一般質問では8人が登壇し、町  
政全般について、当局の考えを質  
しました。

## 一般会計



## 特別会計の決算状況

### 国民健康保険特別会計

歳入総額 3億9,947万5千円

歳出総額 3億9,177万2千円

### 公団分収造林特別会計

歳入総額 2万4千円

歳出総額 0円

### 個別生活排水事業特別会計

歳入総額 323万6千円

歳出総額 323万6千円

### 後期高齢者医療特別会計

歳入総額 4,308万3千円

歳出総額 4,308万3千円

### 農業集落排水事業特別会計

歳入総額 3,422万3千円

歳出総額 3,422万3千円

### 七ツ森地区下水道事業特別会計

歳入総額 408万4千円

歳出総額 408万4千円

### 介護保険特別会計

歳入総額 5億7,148万5千円

歳出総額 5億447万2千円

### 林業集落排水事業特別会計

歳入総額 1,503万円

歳出総額 1,503万円

### 水道事業会計

収益的収支

収入総額 1億3,592万8千円

支出総額 1億503万9千円

資本的収支

収入総額 1,298万4千円

支出総額 6,465万6千円

### 簡易水道特別会計

歳入総額 1,900万3千円

歳出総額 1,900万3千円

### 公共下水道特別会計

歳入総額 1億8,560万円

歳出総額 1億8,560万円

## 決算審査総評

代表監査委員 矢部 文教

令和4年度磐梯町会計決算監査における一般会計及び特別会計の執行状況、財産管理について審査した。

実施の結果、歳入歳出決算書は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、誤りはなく、予算の執行、会計経理についても適正であると認められる。



経常収支比率は、84・9%で、昨年度からは大きく上昇している。公債費は、引き続き償還のピークが続く状況と考えられる。

厳しい財政状況の中で、無駄をなくし、効率的でメリハリをつけた公共サービスに努めていただきたい。

## 条例廃止

磐梯町地域福祉基金条例を廃止する条例

基金としての役割を終了することから、廃止するものです。

## 人事

・教育委員会委員  
玉水まどか氏（塩ノ原）が新たに任命されました。



・固定資産評価  
審査委員会委員  
鈴木悟司氏（源橋）が再任されました。

# 決算認定の主な質疑

## 一般会計

**問** 固定資産税が伸びた要因は。

**答** 家屋と償却資産が伸びており、企業の設備投資によるものです。

**問** ごみ削減の取り組みの反省点と、今後1年間の廃棄物関係事業の改善策は。

**答** 可燃ごみの排出量は、総体的に昨年より減少しています。要因は削減に努めた事と人口減少によるものです。

今年度は、ごみ組成調査結果を全町民にお知らせし、現状を知っていただくなど見える化を図り、ごみ削減に努めます。

**問** 除雪について、自宅から町道まで距離があると、高齢者には大変だ。除雪を町で行えないか。

**答** 町はそこまで除雪できる状況ではなく、貸し出しの小型除雪機があるので、地域の方々と協力しながらやっていただきたいと思います。

**問** 今後の消防団の在り方について、町はどのように考えているのか。

**答** 団員の確保は大変難しく処遇改善を図っています。消防団からも行事等減らしてほしいとの要望もあり、猪苗代支部と、協議を行っていきます。

女性消防団員の確保についても、入りやすい環境整備等を整えていきたいと考えています。

**問** 公共施設整備基金、財政調整積立基金は大きな内容であり、事業が見込まれるのであれば積立をしながら適正な財政運営を図るべきではないか。

**答** 財政調整積立基金は非常に使い勝手がよく、これまで積み立ててきた経緯があります。今後、公共施設の老朽化に伴い、公共施設整備基金積立は重要で、こちらに積立する補正を計上しました。

## 国民健康保険特別会計

**問** 高額医療費の給付人数は。

**答** 給付人数は、令和3年度が28人、令和4年度が31人です。

## 後期高齢者医療特別会計

**問** 特定健康診査の受診率は。

**答** 令和4年度は春の検診で183人が受診し、秋も含めると受診率は29％30％になる予定です。

## 介護保険特別会計

**問** 保険者努力支援交付金が増えた理由は。

**答** 国からチェック項目が示され、それをクリアすれば、クリアした分だけ交付金額が増えるというものです。

## 簡易水道特別会計

**問** 水道施設のイメージとして、外観の修繕を考えるべきではないか。

**答** 今後、外観イメージアップも図りつつ、計画的に取り組みたいです。

## 水道事業会計

**問** 維持管理費の年間見通しと、水道料金改定の時期は。

**答** 事業費の見直しは、アセツトマネジメントを策定しています。水道料金の見直しは、令和6年度から検討をはじめます。

**問** 水道施設のメーターやフェンス等の交換時期は。

**答** おおよそ耐用年数の1・5倍は使用可能と考えています。

## 農業集落排水事業特別会計

**問** 下水道の接続率と、接続に関するPRの方法は。

**答** 接続率は75・2％、PRは磐梯弘報で加入促進を呼びかけています。

## 林業集落排水事業特別会計

**問** 滞納者は、水道会計と重複しているのか。

**答** ほとんど重複しています。生活が厳しいという方が多いです。徴収対策は分納などにより対応しています。

## 公共下水道特別会計

**問** 下水道事業債の環境浄化センターのストックマネジメント事業が減額になった理由は。

**答** 環境浄化センターのストックマネジメント事業と、東松山地区の定住促進事業で、下水道を整備した分が減額になりました。

## 個別生活排水事業特別会計

**問** 合併浄化槽のブロワー等の交換事例はあったのか。

**答** 屋外設置のブロワー2台を交換しています。

## 七ツ森地区下水道事業特別会計

**問** 過年度分の滞納者解消への対応は。

**答** 現年度分を支払うことで、滞納分まで至っていない方がいます。今後も徴収事務は引き続き行っています。



## 2 期目 町長の施政方針

今年3月に見直しました総合計画「後期基本計画」に掲げます4つの基本目標に基づき事業を推進してまいります。

### 1 未来に繋がるまちづくり

#### ① 子育て・教育

- ・ 全ての子育て家庭が安心して子育てできる環境整備
- ・ 子供たちが「最高・最適な教育・保育を受けられる環境」をつくるため、施設の再編と質の高い教育・保育の提供ができるよう、具体的な計画の策定

#### ② 教育

- ・ 「磐梯の教育再デザイン構想委員会」で教育・保育施設の再編事業と、様々な機能・制度・施設等を子ども本位で再デザインを実施
- ・ 学校を核とし、子どもから高齢者まで、世代間の交流を促進する「スクール・コミュニティ」の枠組みの構築

#### ③ 歴史・文化・国際交流

- ・ 「慧日寺跡整備基本計画」の策定に着手し、本寺地区の11期整備計画の立案
- ・ 道の駅ばんだいと慧日寺跡との連携を強化し、通過型観光地から滞在型観光地へシフト
- ・ 指定文化財の維持管理や、民俗芸能の伝承に対する補助支援
- ・ カナダ国オリーブ市との継続性のある交流の再確認

### 2 やりがいのある仕事づくり

#### ① 農林業

- ・ 農家が安心して農作物を作り続けられる仕組みの構築
- ・ 中核的な農業の担い手である認定農業者、農業法人を核に多様な担い手づくりの推進
- ・ 新規就農者や後継者の就農環境の整備の推進

- ・ 生産性向上と付加価値を両立する魅力的で稼げる農業経営の推進
- ・ 有害鳥獣対策で、集落ぐるみで広域化の取り組みの推進

#### ② 商工業

- ・ ECサイトの活用を推奨し、継続的な販路拡大と認知度アップ
- ・ 地域デジタル通貨発行事業の本運用

- ・ スーパープレミアム商品券発行事業の継続

- ・ 移住者に対し、様々な分野や業種の起業が図られるような支援
- ・ 町と連携協定を締結している企業・団体などが持つノウハウや技術を活かした産業創出の構築を図れるよう連携

#### ③ 観光

- ・ 「道の駅ばんだい」を磐梯山周辺アウトドアの拠点、起点として新たに進化
- ・ 広報の情報をより広く発信できるよう、積極的な発信体制の構築

### 3 充実した暮らしづくり

#### ① 健康・医療

- ・ 町民一人ひとりが、心豊かで健やかな生活を送るための健康づくり事業の展開
- ・ 介護を要する状態にならないための介護予防事業や生活支援の推進

#### ② 安全・安心

- ・ 地区単位の自主防災組織の設立・運営に対する積極的な支援

#### ③ 公共交通

- ・ ICTを活用した地域の実情に即したオンデマンド交通の実施

#### ④ 循環型社会と生活インフラ

- ・ ごみ減量化とともにゼロカーボン宣言を行い、積極的な施策を持つて脱CO2の推進

### 4 共創協働のまちづくり

#### ① 移住定住

- ・ 本当に住みたい、住み続けたいまちづくりの推進

#### ② 行政経営の再デザイン

- ・ 行政経営の抜本的な再構築
- ・ 次代の行政経営を担える人材の育成

#### ③ 働き方の再デザイン

- ・ 職員の業務負荷の軽減、効率的かつ効果的な行政経営の推進
- ・ 旅する公務員事業のさらなる促進
- ・ 新しい価値を創造できるような働き方ができる組織文化の醸成



# を 政 問 町 (一般質問) う

(登壇順)

- － 五十嵐大将 議員 － 7 ページ
  1. 希望をいただける学校教育のありかたについて
  2. 介護保険給付費軽減に対する方策について
- － 穴澤 一郎 議員 － 8 ページ
  1. 町の移住定住政策について
- － 古川 綾 議員 － 9 ページ
  1. 住宅取得支援について
  2. 子どもの活動における移動手段について
- － 高橋 浩次 議員 － 10 ページ
  1. 磐梯町停車場線融雪道路について
  2. 一人暮らしの安否確認について
  3. 子育て世代のバックアップについて
- － 松坂 隆洋 議員 － 11 ページ
  1. 観光客の受け入れ体制について
- － 鈴木 翼 議員 － 12 ページ
  1. 稲作の担い手問題について
- － 中嶋 貴子 議員 － 13 ページ
  1. 磐梯町のホームページについて
  2. 魅力ある公園づくりについて
- － 小林 修治 議員 － 14 ページ
  1. 高齢者に優しい行政施策の推進と対応について
  2. 学校複式学級の対策について

## 補正予算の概要

| 一 般 会 計        |                                                             |
|----------------|-------------------------------------------------------------|
| 1 億1,353万 7 千円 | 地方交付税、基金繰入金、前年度繰越金、町債、新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用、戸籍システム更新事業、基金積立金 |
| 47億6,443万 1 千円 |                                                             |
| 国民健康保険特別会計     |                                                             |
| 770万 2 千円      | 繰越金の確定                                                      |
| 4 億2,842万 3 千円 |                                                             |
| 後期高齢者医療特別会計    |                                                             |
| ▲140万円         | 本算定による保険料の補正                                                |
| 4,443万 6 千円    |                                                             |
| 介護保険特別会計       |                                                             |
| 6,508万 4 千円    | 繰越金の確定及び前年度分の精算                                             |
| 5 億8,535万 6 千円 |                                                             |
| 簡易水道特別会計       |                                                             |
| 159万 4 千円      | 消火栓の修繕費                                                     |
| 1,819万 7 千円    |                                                             |
| 水道事業会計         |                                                             |
| ▲150万円         | 消火栓の修繕費                                                     |
| 1,356万円        |                                                             |
| 公共下水道特別会計      |                                                             |
| 330万円          | 施設の維持補修費                                                    |
| 1 億7,538万 9 千円 |                                                             |

※金額の上段は補正額、下段は総額です。

### 議会に参加しましょう。

町民の要望などを直接反映させるための方法として誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

議会では、議員の紹介があるものを「請願」紹介がないものを「陳情」として扱っています。



五十嵐 大 将 議員

**問** 希望をいただける学校教育のあり方について

**答** 子供の気持ちに寄り添う支援が重要

【質問】 7月に全国学力テストが実施されたが、中でも福島県は数学、英語が大きく全国平均を下回った。本町においての結果と今後、学力向上に向けた具体的取り組みについて伺う。

【教育長】 本町においては、県の平均は上回っています。特に英語教育は2人のALT体制を今後も堅持していき、より教育施策の成果課題を分析検証しながら改善を図っていきます。

【質問】 学校に行きたくても悩み、不安により不登校になっている子どもや保護者の悲痛的訴えを多く聞く。この現状に対して学校側は今、何をすべきなのかについて伺う。

【教育長】 不登校の要因は一律でないにしても、基本寄り添って考えることが重要であり、また会津教育事務所のスクールソーシャルワーカーの適切な活用もおこなっていき、要因の解消に努めていきます。

【質問】 教育の基本である家庭教育の在り方について、町当局の理念や理想のあるべき姿について考えを伺う。

【教育長】 家庭は、子どもたちの最も身近にある心のよりどころであり、保護者の方々の頑張りに対しても、学校として家庭教育を応援していきたいと思っています。



**問** 介護保険給付費軽減の方策について  
**答** 医療や社会福祉事業との連携を図る

【質問】 介護保険給付費軽減に対する方策について考えを伺う。

【町長】 自立支援の視点から医療や社会福祉事業との連携を図っていきます。

【質問】 介護保険給付費抑制に向けてケアプラン作成の際、担当するケアマネジャーは自立支援について、何を重点にプランを利用者家族に伝えているのか伺う。

【町長】 要介護者や家族が持つ課題やニーズを、いかにサービスマネジメントと結び付けていくか考えています。

【質問】 介護予防教室の今後の開催について、よりバージョンアップしたものを企画しているか伺う。

【町長】 本年は新たな事業の計画はありませんが、町は今後、事業に対してのポイントラリー形式にするなどして参加者を増やしていくなど努力していきます。



穴澤 一郎 議員



**問** 人口4000人の目標設定の本意は

**答** 各課連携より人口増に取り組む

【質問】地元紙のインタビューで人口4,000人にするの記事が掲載されていたが、かなり高いハードルの目標設定だ。達成するための役場内の体制と具体的な政策、ステップについて伺う。

【町長】目標値を設定した理由は三つあります。一つ目として目標設定値を明確にして、既存政策の継続でなくゼロベースで具体的施策を積み上げていくことが人口を反転させるために重要と考えています。

二つ目は、目標達成できる可能性が我が町にはある。平成29年度総務省データによると、本町の人口3,579名に対して、昼間人口が4,640名の1.3倍です。人口流出が続いてる他町村とは違うところであり、ベッドタウンになる可能性が高いと考えています。

三つ目は、本気度です。目標達成に向け今年度から移住定住推進戦略会議を組織しました。各課連携により空家活用による移住の確保、子育て

支援体制の充実、町内企業への雇用確保、就農など様々な施策により移住定住につなげていきたいと考えています。

【質問】目標が現在の2割以上アップとなるが、他町村での事例があれば伺う。

【町長】千葉県印西市は、自然環境と都市環境の調和で都市アクセスが良く、子育て世帯へのアピール、大規模商業施設の誘致を進め、潤った税収で医療費助成、子育て世帯へ手厚く還元し、20年間で1.2倍以上に増加しています。

また、島根県海士町では教育に力を入れ2021年から微増ですが、若い世代の移住者が増えています。

県内では人口増加率は低いですが、西郷村があり、新幹線による首都圏通勤圏内で土地が安く近隣に働く場所があります。

本町としても各課連携により人口増につなげるべく取り組んでいきます。

【質問】どのような町になったときに目標数を達成できるか考えを伺う。

【町長】移住定住施策だけでなく様々な施策が必要です。子育て政策、教育、働く場所、生活環境対策、医療、買い物、住宅が充実し、本当に住んでみたい魅力ある町になることが大変大事です。

様々な課題、問題を一つ一つ整理し、みんながそこで暮らしたい、暮らし続けたい町にしていきたいと考えています。



2021年6月リオン・ドールオープン



完成した賃貸住宅と宅地造成地

【質問】現在の空き家、空き地対策等の進捗状況は。

【政策課長】現在、空き家・空き地バンクを設け、所有者に対し毎年数件ずつアンケート調査を実施し登録しやすい環境を整備し、相続・家財処分等の補助事業を行っています。現在の空き家状況は、100軒ほどで空き家バンク登録は5件です。空き地バンク登録は0件で、今後バンク登録を推進し、町の人口増対策につなげるよう努力していきたいと考えています。





古 川 綾 議員

**問 町民に住宅取得支援を！**

**答 来年4月の実施を目指し検討する**

【質問】人口減少をくい止めるには町民の転出を防ぐ必要がある。若者住宅・子育て住宅の入居者にアンケートを取ると半数が住宅取得を考えているが、多くが本町ではなく会津若松市を希望している。

住民の転出を防ぐため湯川村、会津坂下町、柳津町、西会津町、只見町、南会津町では住宅取得支援制度を設けている。住民がその町村内で住宅を取得する際に30万円から200万円の補助金を交付する制度だ。本町でも住宅取得支援制度を設ける考えはあるか。

【町長】現在、各課連携の移住定住推進戦略会議で具体的な施策の立案に向けて検討しています。移住者だけでなく現在本町に住んでいる若者も住み続けたいくなるような効果的な策を考えていきます。

【質問】本町と人口規模が近い湯川村、柳津町、只見町では毎年3〜7件の補助金交付があり、対象は7割以上が移

住者ではなく在住者であった。また、只見町では年齢制限を設けておらず50歳代への交付が半数を占めている。本町でも幅広く支援する制度を設ける考えはあるか。

【町長】各市町村の事例を調査しながら、効果的な施策を検討します。

【質問】本町は宅地が少ない。農地転用の説明等、各課連携した相談受付体制が必要と考えるが、サポート体制についてどう考えるか。

【政策課長】政策課と農林課と連携しながら対応する形をとりたいと考えます。

【質問】若者住宅・子育て住宅では既に退去を迫られている世帯が出てきている。早急に住宅取得支援策を検討する必要がある。実施までのスケジュールは。

【政策課長】来年4月からの実施を目指します。

**問 子どもたちの町内移動支援を！**

**答 10月からオンデマンド交通に対応**

【質問】町には「まなびときばんだい」や書道、そろばんピアノ、英語の教室、学習塾があるが、磐梯二小の子どもたちには移動手段がなく通えない。また、送迎が難しいとの理由でスポーツ少年団に参加できない子どもがいる。

10月にリニューアルする「オンデマンド交通」をこのような子どもたちも活用できるようにできないか。町の考えを伺う。

【町長】10月からのAーシステムを活用した「オンデマンド交通」では、どこでも乗降できるようになります。年末年始を除いて毎日、午前8時から午後5時まで運行します。高校生以下は無料となりますよう検討しています。予約も電話だけでなく、アプリで24時間受付できるようになります。

10月からのオンデマンド交通の料金

| 対 象 者 |            | 料 金    |
|-------|------------|--------|
| 町 民   | 一般         | 300円   |
|       | 70歳以上、障がい者 | 100円   |
|       | 高校生以下      | 無料     |
| 町民以外  |            | 1,000円 |

※星野リゾートエリアへは+100円となります

時間に制限はありませんが、子どもの塾やスポーツ、習いごとにも利用可能です。



高橋 浩次 議員



**問** 県道磐梯町停車場線について

**答** 早期修復に向けて努力していく



県道磐梯町停車場線

【質問】県道磐梯町停車場線の冬期融雪道路が、ここ数年機能していない。通学・生活路線であり事故発生にもつながるため町の考えを伺う。

【町長】県道磐梯町停車場線の無散水融雪施設は、令和3年からポンプの不具合や管の漏水により一部機能していない状況で、県に対し早期修繕を求めてきました。今年7月に県と地域課題検討会においても、抜本的な施設改修について要望し早期修繕に努めると回答を得たところです。

今後も県からの情報収集に努めるとともに、早期修復に向け努力する考えです。

**問** デジタルを活用した安否確認について

**答** 今のところ予定はない

【質問】本町には約170世帯を上回る一人暮らし世帯があり、特に高齢者の安否確認については、民生委員の方や地域住民の方々の協力を得ている。デジタルを活用した安否確認を構築する考えはあるか。

【町長】緊急通報システムは主に65歳以上の一人暮らしの非課税世帯で申請した方が利用しており、緊急時のみではなく定期的に安否確認を行っています。デジタルを活用した町独自の安否確認システムを構築する考えは今のところありません。民間のシス

テムをご自身で利用することでもできますので、ご理解をお願いいたします。

【質問】民間システムを使うことに対し町からの補助はあるのか。

【町民課長】現在、非課税世帯を対象に町から緊急装置で補助を出しています。課税世帯の方については、ご自分の費用でお願いしたいと考えています。

**問** 子育て世帯への助成について

**答** 効率的な支援を行っていく

【質問】物価高騰により、特に子育て世帯では今まで以上の出費が重なり家計のやりくりが大変との声が聞こえる。一般家庭はもとより特に子育て世帯に対し継続的または単発的に助成等の考えはあるか。

【町長】令和2年度以降、子育て世代の支援を継続的にを行っています。令和5年度においては、ひとり親世帯や家計急変世帯を中心に低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円の生活支援特別給付金の給付事業を行いました。

国の施策に町独自の給付金を上乗せするなど支援を行い、18歳未満の児童を養育する全体的な子育て世帯の生活を応援するため、児童一人当たり1万円を給付する事業を実施しました。今後とも国の施策と併せて、より効率的な子育て世代の支援を行っていきます。





松 坂 隆 洋 議員

**問** 国内外からの観光客受け入れについて

**答** 知名度向上を図り、関係機関と連携する

【質問】星野リゾートはアルツ磐梯と猫魔スキー場を統一し、先日、新名称「星野リゾート・ネコマウンテン」を発表した。これにより、国内最大級のスキーリゾートが誕生し、観光客への波及効果が期待され、外国人観光客がスキー場だけでなく、道の駅や史跡慧日寺跡などの施設にも訪れると考えられる。

磐梯町の魅力をアピールし、町全体に観光客呼び込む戦略が重要だが、どのようなアピールを考えているか伺う。

【町長】観光客へのアピールを強化するため、本町の知名度向上が鍵です。磐梯山や民謡会津磐梯山を活用し、町オリジナルの民謡を制作して周知度向上を図ります。本町を知ってもらい、いわゆる交流人口・愛着人口を増やすことが観光客を呼び込む第一歩です。これに加え、関係機関と連携しながら、他の有効施策も展開します。



ネコマウンテンからの猪苗代湖と磐梯山

【質問】外国人が本町へ観光に来たときに、通訳がいなくても買物ができる対応ができているか伺う。

【町長】町内の事業所は外国人対応に関して問題がないと回答しており、今後も通訳アプリ等を活用してコミュニケーションを図る方針です。町はガイドブックや多言語の看板と案内板の整備等を通じて外国人へのサービス向上を検討中です。

【質問】道の駅もアウトドア利用客でさらに混む可能性がある。駐車場の台数をもっと止められるようにするべきだと思うが、町の考えを伺う。

【町長】現在、道の駅の駐車場は週末や観光シーズンに満車となり、観光客が停められず通過してしまうこともあります。町は駐車台数を増やし、道の駅を魅力的に拡充する構想を検討しています。

【質問】スキーが好きな観光客が来たときに、観光として受入れるだけではなく、今後住みたくなるよう、チラシ等でアピールをすることが大事だと思うが、町の考えを伺う。

【町長】移住・定住推進戦略会議を設立し、住宅、保健福祉、子育て、教育など移住から定住までの対策を協力して進めています。一体的な情報提供を目指し、ホームページ作成と移住後のケアを強化し、定住を促進します。

**次回の定例会は12月上旬に行なわれます。**

**ぜひ傍聴においでください。**

手続きは、3階議場入口で住所氏名を記入するだけです。

くわしい日程は、後日チラシ等でお知らせします。

議会を傍聴する際、3階へはエレベーターをご利用ください。

鈴木 翼 議員



## 問 稲作の担い手問題について

## 答 もうかり魅力ある農業の実戦を図る

【質問】現在、本町の担い手となる若手農家が激減しており、特に稲作に関しては絶望的な状況である。このままでは耕作放棄地が一気に増えていく。新規の稲作農家をいかに増やすかが、農地を守っていくうえで肝要となってくるが、新規で稲作を始めるにも数千万円単位の初期投資が必要になり、現在の情勢を鑑みると現実的ではない。

ばんだい振興公社に農業部門も新設され、今後は新規就農者の雇い入れ作業の委託、田んぼの貸与など働き口を提供するなど不安定な収入の解消が期待されることもあり、

①引退する農家が、安心して農地を任せられるための、担い手問題に対する早期解決策はあるのか。

②担い手への農機購入や、維持管理へのサポートはあるのか。

③新規就農者をどのように増やすのか。

④ばんだい振興公社が農業法人、新規就農者にどのようなサポートをするのか伺う。

【町長】①担い手問題の早期解決策については、町独自の就農支援事業において設備等初期投資経費の二分の一、50万円補助を、今年から十分の十、300万円に拡充しました。町内農業法人を支援するため、農業サポーター地域おこし協力隊2名に、直接農業法人への支援にあたってもらっています。

②農機購入や維持管理に関するサポートについては、国県補助事業で最大一千万円ありますが、維持管理に関するものについての支援制度はありません。

③新規就農者をどのように増やしていくかについては、町内外からの多種多様な担い手の確保により対応していきたいと考えています。

④ばんだい振興公社の関わりについては、磐梯町農業公社をばんだい振興公社の農業部門としてスタートし、役割については「農業経営継続のサポート」と「儲かる農業への出口戦略の強化」です。

【質問】新規就農者の移住・定住問題については、以前より本町に魅力を感じ移住を考えても住むところが見つからず問題になっていた。今回、町内に新たに2棟アパートが建設され、移住の幅が広がったが、農業を営もうとする者には作業小屋や農業機械車両の駐車スペースも必要になるので、空き家を活用しようという考えも出てくると考える。

①町内に、新規就農を考える方が移住できるための空き家が現在、どの集落にどのくらいあるのか。

②新規就農者が住めるような住宅を、新たに建設する考えがあるのか伺う。

【町長】①新規就農者が移住できる空き家は、空き家バンクに現在、1件登録がありますが、それ以外に、どの集落にどのくらいあるかは把握できていません。

②新たに住宅建設する計画は、町としてありません。





中 嶋 貴 子 議員

**問** 町のホームページを改善すべきでは？

**答** 全面改善へ情報発信体制を再構築している

【質問】本町はSNSやホームページを通じて情報発信しているが、ホームページのデザインが統一されておらず見にくい、スマホでの利用が不便だと感じる。コンテンツに関しても古い情報が混在しており、重要情報に辿り着くまでの検索が難しい時がある。

また、昨今の自治体のホームページは情報提供だけでなく、広告やマーケティングツールとしての役割も担っていることに配慮すべきだと考える。そのため、他の自治体のホームページを参考に、使い勝手の良いサイトに改善し、職員の業務を効率化すると同時に町の魅力をより良く発信できるように努力すべきである。

本町のデジタル変革戦略内において、ホームページの抜本的な見直しを計画しているが、その進捗状況と具体的な改善内容について伺う。



磐梯町ホームページのトップページ

【町長】現在のホームページは平成27年に作成され、当時の見やすさを重視した構成でしたが、現在の行政と国民生活の変化に適応しておらず、閲覧しにくいことは認識しています。ホームページの見直しについて、デザイン、構成、情報の全面的な見直しを計画しています。

また、見直しの進捗状況について、課題の整理と解決策の調査がデジタル変革戦略室で進行中です。ホームページの改善には多くの作業と費用が必要で、表面的な変更ではなく、全ての情報チャンネルを活用し、職員全員が広報として情報発信できる体制を構築する予定です。

**問** 魅力的な公園を創る考えは？

**答** 公園のあり方を中長期的に検討する

【質問】約5年前にふるさと森公園が廃止されて以来、子育て世代は本町に魅力的な公園や遊び場の不足を感じているとの声が多い。現在、町内には7か所の農村公園があり、地域の憩いの場と防災避難場所として維持されているが、現状、ほとんどの公園は子供たちが安全に遊ぶ場所としては機能しておらず、設備が時代に合わないものが多い。また、本町には冬に楽しめるスキー場があるが、夏に子供を連れて遊ぶ場所が不足している。

今後、観光資源にもなりうる魅力的な公園を創出することとは、住民の満足度向上につながると思うが公園の在り方について町の考えを伺う。

【町長】ふるさとの森公園は、町道の整備による敷地分断、震災後の利用者減少、アスレチック施設の老朽化、地区の産業ゾーンへの位置づけなどを考慮し、平成30年に用途廃止し、地元企業に売却されました。公園は地域の特性や課題に応じて緑化、防災、健康増進、コミュニティ形成、観光振興など、多くの役割を果たすことができるものであり、これらの目的に合致した公園整備を中長期的に検討していきます。



使用できない農村公園のトイレ



小林 修 治 議員



**問** 高齢者へのサービス充実を！

**答** 様々な施策を進めていく

【質問】町は教育・保育の充実が重要と考えているが、高齢者への配慮が弱い。高齢者に対するサービスを推進すべきだ。プレミアム商品券を苦勞して買いに行ったが、早々に完売して買えなかった高齢者がいた。高齢者の購入実態や交通手段は把握しているか。

【町長】プレミアム商品券の購入者における高齢世帯の割合は約22%です。交通手段についての調査は実施していません。今回は若い世代、高齢者ともに買いやすいよう、土曜・日曜・月曜に分けて販売しました。

【質問】介護予防元氣いきいきポイント事業でもらえる景品が不明だ。明らかにすべきであると考えているが町の考えは。

【町長】「介護予防元氣いきいきポイント事業」は、高齢者が自身の状態を知り、健康を意識する機会を提供するため今年から始めた事業です。すでに景品は購入しています。

が「お楽しみ」ということで明らかにしていません。

【質問】町長の町政懇談会が前回は夜間に開催された。高齢者も参加しやすいよう日中に開催するべきだ。町の考えを伺う。

【町長】今後は数回程度、日中にも開催したいと考えています。

【質問】町は各種事業でポイントサービスをしているが、行政サービスがゆがむことが危惧される。高額なポイントの付与は自粛すべきだ。町の考えを伺う。

【町長】ばんだいコインによるポイント付与は、町内外を問わず多くの方が町と関わる機会を創り地域の活性化を図ることが目的で、先進自治体の事例を参考にしながら事業内容に見合うポイントを付与しています。今後も高齢者にとってより良いサービスとなるよう取り組みます。

**問** 小学校の複式学級の対策は？

**答** 再デザイン構想委員会で検討している

【質問】現在町が行っている住宅政策は中部地区が中心となっている。複式学級の解消に向けて第二小学校周辺の耕作放棄地に宅地を造成するべきだ。町の考えを伺う。

【町長】学校の在り方については、今年度から「磐梯の教育再デザイン構想委員会」を設置し検討しています。磐梯の子どもたちにとってどのような教育スタイルが最も良いのか、引き続き検討を進めます。

【町長】第二小学校だけでなく第一小学校でも児童数が減少しています。町全体で少子化に歯止めをかけられるよう、移住定住対策の中で空き家や空き地、遊休地、耕作放棄地の活用を進めていきます。

【質問】地区外でも希望すれば入学できる「小規模特認校制度」を導入できないか。第一小学校と第二小学校を統合しないのか。公設民営方式を導入できないか。



複式学級のある磐梯第二小学校

## 現地調査

総務文教厚生委員会では、9月7日の午後に老人福祉センターと保健福祉センターの視察を行いました。

特に老人福祉センターは、町で福祉避難所として指定している施設でもあり、施設の管理状況について、担当課長から説明を受けました。



福祉避難所の説明を受ける議員



保健福祉センターの視察

また、経済環境委員会では、9月7日の午後に建設課長から主要なる上下水道施設について説明を受けた後、町内の上下水道施設を視察し、建物の外観の確認や、施設内の機械の管理状況を調査しました。



建物の外観の確認



施設内の機械の確認



施設内の稼働状況の確認

一部の施設において、建物の錆による腐食や破損が見受けられましたが、今後は建物の機能診断を行って、対応していくとの報告を受けました。

いつでも綺麗な施設で、おいしい水道水の供給ができるように願うものです。

## 議会広報研修

9月27日（水）東京都千代田区大手町にある日経ホールで、全国町村議会広報研修会が開催され、町議会から広報委員会の委員4名が受講してきました。

3名の講師から、それぞれ講義を受け、広報誌の作り方の基礎を学びました。

今後は、研修の内容を実際の議会だよりに反映できればと思います。



# みんなの声

保護者の皆様の声を  
ご紹介いたします。

## ばんだいキッズスポーツサークル

ばんだいキッズスポーツサークルでは幼児から小学生を対象に体操教室やスイミング教室を行っています。マット運動や鉄棒、ボール、縄跳びなど楽しく運動ができますのでぜひ遊びに来てください。

○1回200円で体操教室に参加できるのはありがたいです。こどもたちがたくさん体を動かせる機会が欲しい。

○町の図書館をもっと利用しやすくしてほしい。

冬は寒く、トイレにはベビーベッドがない。

交流館のなかに図書館を入れたり、公民館の2階に移動するなど、何か対策を考えていただきたい。

○ふれあいセンターのプールをコース貸切などで利用できるようにしてほしい。

町内外問わずクラブチーム等も貸切できるようになれば、需要もあるはず。

○安芸高田市のように条例を制定し議会の配信を行って下さい。今年も新人の議員さんがたくさん生まれましたが、当選後は我々に意見を聞くような機会を持つこともなく、秋になろうとしています。しっかりと仕事をやれる方が議員を続けられるように、議会が健全化されるように、町民が町政に興味を持ち監視力となるように、よろしく願いいたします。これをやらないのは議会の怠慢だ'と思います。

○冬のこども向けのスキーやスノーボード教室もあるといいな、と思います。親がなかなか教えられるので。



## 編集後記

今年度、新たな議会構成が決まり、新メンバーでの議会広報委員会がスタートしました。

9月の定例議会における一般質問では、町民の皆様が読みやすく理解しやすいような文章にするため、メンバーで何度も確認をし作成したところですが、まだまだ皆様に満足いただける内容までには達していないと思います。

広報委員全員で満足いく議会だよりにしていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

(文責 穴澤 一郎)

議会だより  
発行責任者  
議長 鈴木 久一

編集  
議会広報委員会  
委員長 穴澤 一郎  
副委員長 中嶋 貴子  
委員 五十嵐 大将  
委員 古川 綾